サポート情報記事

自動ロック: Password Vault が PIN コードを再度要求するタイミング

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

ロック状態とロック解除状態 4

PIN コードの入力画面 4

PIN コードの用途 5

保管庫が再びロックされるタイミング 6

保管庫がロックされたときの動作 7

安全に作業するためのヒント 7

概要

Password Vault が PIN コードを要求するのは、保管庫を開くときの 1 回だけです。保管庫がロックされている間、Web パーツにはエントリは 1 つも表示されず、PIN コードの入力画面だけが表示されます。PIN コードを入力すると一覧が表示され、すべての操作をそのまま実行できます。作業中、保管庫は**ロック解除**された状態のままになり、5 分間操作がないと自動的に再び**ロック**されます。この記事では、PIN コードの用途、保管庫がロックされるタイミング、そのときに何が起こるかを説明します。

ロック状態とロック解除状態

Web パーツは、常に次の 2 つの状態のいずれかにあります。

- **ロック:** ページを読み込むたびにこの状態になります。Web パーツにはエントリが表示されず、名前も表示されません。一覧の代わりに **PINコードの入力** 画面が表示されます。ツール バーでは **更新** ボタンだけを使用できます。
- **ロック解除:** 正しい PIN コードを入力した後の状態です。一覧、**検索** ボックスとフィルター、**新しいアイテム**、歯車アイコンの **構成** が表示され、すべての操作は PIN コードを再度求められることなく、すぐに実行されます。

ロック状態は開いているページごとに管理されます。ブラウザーの 1 つのタブ、1 台のデバイス、または Microsoft Teams で保管庫のロックを解除しても、ほかの場所ではロックは解除されません。

PIN コードの入力画面

保管庫がロックされている間、Web パーツは一覧の代わりに **PINコードの入力** 画面を表示します。画面には *続行するには PINコードを入力してください* というテキストと 4 つの数字ボックスがあります。

1 4 桁の PIN コードを入力します。入力中の数字はマスクされます。4 桁目を入力するとすぐに PIN コードが自動的に確認されます。OK ボタンはありません。
2 PIN コードが正しい場合は、入力画面が消えてエントリが表示されます。
3 PIN コードが間違っている場合は、*PINコードが正しくありません* と *残りの試行回数: N* が表示され、もう一度入力できます。以前に間違った PIN コードがカウントされている場合 (たとえば、再読み込みした後や別のデバイスの場合) にも、*残りの試行回数* の行が表示されます。

警告

間違った PIN コードの回数は保管庫ファイルに記録されます。そのため、この回数はすべてのページ、デバイス、Teams タブで共有され、時間が経ってもリセットされません。リセットされるのは、正しい PIN コードを入力したときだけです。間違った PIN コードを **5** 回続けて入力すると、保管庫はブロックされ、リセットしかできなくなります。リセットするとすべてのエントリが削除されます。KB10455. Password Vault で PIN コードを誤って入力した場合: 5 回失敗するとどうなるかを参照してください。

PIN コードの用途

操作	ロック時	ロック解除時
一覧の表示: 名前とユーザー名	非表示 (代わりに **PINコードの入力** 画面が表示されます)	表示
エントリを展開して **ユーザー名**、**URL**、**フォルダー**、**タグ**、**メモ** を表示する	使用不可	使用可能
パスワードの表示 (目のボタン)、**ユーザー名** または **パスワード** の横の **クリップボードにコピー**	使用不可	すぐに使用可能
お気に入りの登録と解除 (星)、**検索** とフィルターのドロップダウン	使用不可	使用可能
新しいアイテム、**編集**、**削除**	使用不可	すぐに使用可能
構成 → **PINコードの変更**	使用不可 (歯車アイコンは非表示)	すぐに使用可能

操作	ロック時	ロック解除時
更新	使用可能	使用可能

まとめると、PIN コードが必要なのは保管庫を開くときの 1 回だけです。その後は、保管庫がロックされるまで、どの操作でも PIN コードを再度求められることはありません。

メモ

保管庫のロックが解除されている間、名前とユーザー名は一覧に表示され、URL、フォルダー、タグ、メモはエントリを展開するとそのまま表示されます。その間に画面を見ることができる人なら誰でも、これらを読むことができます。秘密の質問の答えや回復コードなどの機密情報を メモ に入力しないでください。各フィールドの保護のしくみについては、KB10452. Password Vault によるデータの保護: 暗号化、PIN コード、ストレージで説明しています。

保管庫が再びロックされるタイミング

保管庫は、次の場合に再びロックされます。

- **5 分間操作がない場合。** 操作とは、Web パーツ内 (ダイアログと **PIN**コードの変更 画面を含む) でのマウスのクリック (またはタップ) やキーの入力を指します。Web パーツ内でクリックやキー入力を行うたびに、5 分間のカウントが最初からやり直しになります。マウスの移動、ページのスクロール、ページのほかの場所や別のアプリケーションでの作業は、操作と見なされません。
- **ページを再読み込みした場合。** ロック解除状態は開いているページの中でのみ保持されます。再読み込みした後や、後でページを開き直したときは、保管庫はロックされた状態で始まります。
- **ページ、ブラウザーのタブ、または Teams タブを閉じた場合。**

更新 ボタンでは保管庫はロックされません。OneDrive からエントリを再読み込みし、現在の状態を保持します。ただし、その間に別のデバイスで PIN コードが変更されたか保管庫がリセットされた場合は、ページがロックされ、新しい PIN コードを要求します。

ロック ボタンはありません。保管庫をすぐにロックするには、ページを再読み込みするか閉じます。

保管庫がロックされたときの動作

5 分が経過すると、Web パーツは次の処理を行います。

- 一覧、**検索** ボックス、フィルターを非表示にし、代わりに **PINコードの入力** 画面を表示します。
- 表示されていたパスワードをすべて非表示にします。
- ページのメモリから暗号化キーを削除します。
- 開いているすべてのダイアログ (**新しいアイテム**、**プロパティの編集**、**削除** の確認) を保存せずに閉じます。ロック後に変更を保存することはできません。
- **PINコードの変更** 画面を閉じます。PIN コードは変更されません。

PIN コードを再度入力すると、使用していた検索テキストとフィルターのまま一覧が表示されます。展開していたエントリは折りたたまれます。

警告

コピーしたパスワードは、保管庫がロックされた後もクリップボードに残ります。Password Vault はクリップボードを消去しません。必要な場所に貼り付けたら、特に共有コンピューターでは、別のものをコピーしておいてください。

安全に作業するためのヒント

- **席を離れるときは、コンピューターをロックします** (たとえば、Windows ロゴキー + L)。自動ロックで保管庫が非表示になるのは 5 分後です。それまでは、表示されている内容はすべて開いているページに表示されたままです。
- 作業が終わったら、自動ロックを待たずに**ページを閉じるか再読み込みします。**
- **席を外す前に編集内容を保存します。** **新しいアイテム** または **プロパティの編集** ダイアログを操作せずに 5 分間開いたままにすると、ダイアログが閉じて変更内容が失われます。
- **PIN コードは慎重に入力します。** **PINコードの入力** 画面では入力中の数字はマスクされます。入力ミスは 1 回ごとに上限の 5 回に数えられます。
- **PIN コードは安全な場所に控えておきます。** 忘れた PIN コードは回復できません。KB10460. Password Vault の PIN コードを忘れた場合の対処方法を参照してください。

ヒント

PIN コードを変更するには、KB10450. Password Vault で PIN コードを変更する方法を参照してください。パスワードの表示とコピーの手順については、KB10444. Password Vault でパスワードまたはユーザー名を表示してコピーする方法で説明しています。